

事業所名

牛久市こども発達支援センターのぞみ園

支援プログラム

作成日

7 年

3月

26

法人（事業所）理念		・ 人（地域）をつなぎ、自立した生活を支える、役に立つ社協										
支援方針		・ 障がい等により発達支援の必要な乳幼児期のお子さんに対し、小集団及び個別による療育支援を行うことで、心身の発達を促していきます。 ・ 幼稚園や保育園等の関係機関と連携を図りながら、就園・就学に向けた支援を行います。										
サービス提供時間		9	時	00	分から	16	時	45	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・ 小集団指導や個別指導のプログラムの中で、トイレトレーニングや食事指導を取り入れ、基本的な生活スキル（食事・排泄・着替え等）の獲得に向けて保護者と一緒に取り組んでいきます。また、ご家庭での睡眠や食事の状況を確認し、課題について一緒に考え、支援していきます。 ・ 年長のお子さんに対しては、就学に向けて必要な生活スキル（スケジュールの理解、持ち物の準備や管理、登下校を意識した行動等）の獲得に向けて支援していきます。										
	運動・感覚	・ サーキット、キッズ・ヨガ、リトミックなどの遊びを通し、粗大運動の向上を図ります。 ・ 制作、お絵描き、パズルなどを通し、微細運動の向上を図ります。また感覚遊び等を通し、感覚の過敏や鈍麻の改善を支援していきます。 ・ 年長のお子さんに対しては、鉛筆の使用や学用品の扱いを練習し、就学に向けた支援を行っていきます。										
	認知・行動	・ 絵本の読み聞かせや制作などで様々な題材を取り入れ経験をしていくことで、興味の幅を広げて行けるよう支援するとともに、認知機能の発達を促していきます。 ・ 興味のあるおもちゃやゲーム遊びを通して楽しみながら色や形、数量等の概念を学んでいきます。 ・ 一人一人の特性を理解し、こだわりの低減に取り組めます。										
	言語 コミュニケーション	・ 指さしや身振り、サイン等を使用して、意志を伝えられるようコミュニケーションの練習をしていきます。 ・ あいさつなど、日々の生活の中でのよく使う言葉や体を使った遊びを通して、発声や発語を促していきます。 ・ 絵カード等を使用しながら、発語を引き出し、語彙を増やしたり、質問応答の練習をしていきます。 ・ 年長のお子さんに対しては、お友達との会話のやり取りや話し合いの練習をしたり、必要に応じて文字の読み書きの練習にも取り組みます。										
	人間関係 社会性	・ 職員と一緒に遊んだり、お友達と一緒にしかかわれるよう職員が間に入って促すことで、他者とかかわる楽しさを経験できるよう支援していきます。 ・ 着席行動や一斉指示への注目を練習していくことで、就園先や就学後も適切に集団行動がとれるよう支援していきます。 ・ 小集団指導の中でお友達と一緒に様々な遊びを経験しながら、自分の気持ちに折り合いをつけたり、自分の気持ちを言葉で伝えられるよう、感情のコントロールを練習していきます。										
家族支援		・ 親子で通園していただき、お子さんの活動の様子を見学していただきながら、対応方法を一緒に考えていきます。 ・ ご家庭や就園先での困りことなどについて随時相談をお受けします。 ・ 保護者向けの勉強会やペアレントトレーニング、おしゃべり会等を開催していきます。							移行支援		・ 就園、就学に向け、保護者の方と相談しながら一緒に準備を進めていきます。 ・ 就園先、就学先に対し、ご希望に応じてお子さんの状況について引継ぎを行います。また、サポートブックの作成をお手伝いします。	
地域支援・地域連携		・ 保健センター、教育委員会等市の各課、お子さんが通う園や他事業所、医療機関との連携を積極的に行っています。また、ご希望に応じて、他機関とのよりよい支援、連携のための会議を行います。 ・ 保育園との交流（ちょこれーと・くらぶ）、児童委員・主任児童委員との交流を行います。							職員の質の向上		・ 内部研修の実施・外部研修への参加により、職員の質の向上に努めます。	
主な行事等		春のピクニック・夏のつどい・おばけやしき・遠足・クリスマス会・避難訓練・就園おはなし会・おしゃべり会・保護者勉強会・療育基礎講座・個人面談・就学説明会・市内小学校特別支援学級の見学・公開療育										